科目名: 老年看護学概論	必修	1単位(45時間)
(Introduction to Gerontological Nursing)		

履修年次/時期: 2年次 前期　　授業形態: 講義

主担当教員: 棚橋 泰之

主担当教員詳細: 実務経験 看護師13年:実務経験および教育経験から老年期の対象理解と看護を提供する際に必要な知識を獲得できるような授業を展開する。

担当教員名:

学修目的	超高齢社会において生活及び療養する高齢者のケア制度をもとに高齢者に適切な援助を実施する際に必要となる考え方を修得する。 関連するCP: CP1,CP2,CP3,CP6　　科目No. KNI-213		
この科目が目的としているDP	1. 医療専門職としての倫理観を有する。	(1)生命の尊厳を基盤とし、医療における倫理観を有する。	○
		(2)医療専門職として礼節を重んじ品格を備える。	○
	2. 医療専門職として健康問題の発見と課題に取り組む能力を有する。	(1)教養と考える力を身につけ、主体的に課題解決に取り組む能力を有する。	○
		(2)専門的知識や技術を修得し、人びとの健康に寄与できる能力を有する。	◎
		(3)社会の動向に関心をもち、学び続ける力を有する。	○
	3. 健康支援を通し、全身の健康を守る看護実践能力を有する。	(1)多様な価値観を持った人びとを理解し、人間関係を築く能力を有する。	○
		(2)優しさに溢れる看護専門職として地域社会に貢献する能力を有する。	○
		(3)看護専門職としての役割と責任を自覚し、多職種と協働できる能力を有する。	○
	◎: この講義・演習・実習と最も関連があるDP ○: この講義・演習・実習と関連があるDP		
到達目標	1. ライフサイクルにおける老年期の発達課題について説明できる。 2. 高齢社会における高齢者の生活や健康状態を統計的に説明できる。 3. 高齢者を取り巻く社会構造や保健・医療・福祉の現状と、高齢者を支える社会システムの概要を説明できる。 4. 老年看護における倫理的課題を考えることができる。 5. 高齢者のQOLと自己決定・死生観への支援について理解を深めることができる。 6. 高齢者のより健康的な生活を支える看護の役割と機能について説明できる。		
授業概要	老年看護を学ぶ導入として、老いを生きる高齢者に焦点をあて老化理論や発達課題を理解する。また、現在の超高齢社会の様相と倫理的課題、社会制度について学習し、老年看護の基本的な考え方を養う。		
評価方法	定期試験 100% 評価に対するフィードバックは掲示にて伝える。		
予習・復習時間	【予習】1.9時間 【復習】1.9時間		
教科書	系統看護学講座 専門分野 老年看護学 医学書院 系統看護学講座 専門分野 老年看護病態・疾患論 医学書院		
参考書	授業内で適宜紹介します。		
ｵﾌｨｽｱﾜｰ 連絡先	在室時は調整し対応。不在時は下記メールに連絡ください。 棚橋泰之:3号館3階 研究室 tanahashi@kdu.ac.jp		

実 施 回	第1回	実 施 日	2026/04/20	時限	1	班	
授業計画	【科目ガイダンス】 ①看護師国家試験出題基準（老年看護学）を説明できる。 ②老年看護学のカリキュラムの構築を理解できる。 ③老年看護学概論の概要を知る。 ④老年看護の定義を説明できる。 ⑤老年看護学の変遷と背景について理解できる。 ⑥老年看護の役割が説明できる。	予　習	教科書：老年看護学の該当ページを読んで臨む。				
		復　習	キーワードをもとに授業内容をまとめておく。				
		キーワード	老年看護学、老年看護学の変遷、老年看護の定義、老年看護の役割				
授業形態	講義	担当	棚橋				

実 施 回	第2回	実 施 日	2026/04/27	時限	1	班	
授業計画	高齢社会の統計的輪郭 人口学的指標・健康指標からみる老年期 ①人口の高齢化と今後の推移について説明できる。 ②高齢化のもたらす変化を説明できる。 ③高齢者世帯、高齢者のくらし、健康状態と死亡について説明できる。	予　習	教科書：老年看護学の該当ページを読んで臨む。				
		復　習	高齢者のもたらす変化をまとめる。				
		キーワード	少子高齢化、老年人口、自覚症状と受療状況、経済状況、高齢者の暮らし				
授業形態	講義・演習	担当	棚橋				

実 施 回	第3回	実 施 日	2026/05/11	時限	1	班	
授業計画	老いるということ／老いを生きるということ ①老年期の発達課題を説明できる。 ②加齢に伴う3側面の変化を理解できる。 ③高齢者の対象理解を深める。 ④自己の老年観、老年看護観を表現できる。	予　習	教科書：老年看護学の該当ページを読んで臨む。				
		復　習	加齢に伴う3側面の変化、発達課題をまとめる。				
		キーワード	エリクソン、ペック、ハヴィガースト、老年的超越、老いの受容、ライチャード、バトラー、ピーター・ラスレット、身体的・精神的・社会的側面				
授業形態	講義・演習	担当	棚橋				

実 施 回	第4回	実 施 日	2026/05/11	時限	2	班	
授業計画	高齢社会における保健医療福祉の動向 ①高齢者とソーシャル・サポート ②保健医療福祉システムの構築 ③高齢者を支える職種と活動 ④介護保険制度のしくみとサービス ・介護療養型医療施設の特徴と看護 ・介護老人保健施設の特徴と看護 ・小規模多機能型居宅介護の特徴と看護	予　習	教科書：老年看護学の該当ページを読んで臨む。				
		復　習	高齢化のもたらす変化をまとめる。				
		キーワード	少子高齢化、老年人口、自覚症状と受療状況、経済状態、高齢者の暮らし				
授業形態	講義・演習	担当	棚橋				

実 施 回	第5回	実 施 日	2026/05/18	時限	1	班	
授業計画	老年看護に役立つ理論・概念 ①フレイルサイクルについて理解できる。 ②スピリチュアリティについて理解できる。 ③サクセスフルエイジングについて理解できる。 ④コンフォート理論について理解できる。 ⑤ストレングスモデルについて理解できる。 ⑥アクティブエイジングについて理解できる。	予　習	教科書：老年看護学の該当ページを読んで臨む。				
		復　習	各理論・概念について説明できるようにまとめておく。				
		キーワード	フレイル、サルコペニア、スピリチュアリティ、サクセスフルエイジング、SOC理論、コンフォート理論、ストレングスモデル、老いの受容、アクティブエイジング				
授業形態	講義・演習	担当	棚橋				

実 施 回	第6回	実 施 日	2026/05/18	時限	2	班	
授業計画	高齢社会における権利擁護 ①高齢者に対するスティグマと差別について説明できる。 ②高齢者虐待について説明できる。 ③身体拘束について説明できる。 ④権利擁護のための制度について説明できる。 グループワーク「どうしたら高齢者の尊厳は守れるか」	予　習	教科書：老年看護学の該当ページを読んで臨む。				
		復　習	虐待の実際と、虐待が高齢者にもたらす影響を振り返る。レポートにまとめる。				
		キーワード	スティグマ、アドボカシー、身体拘束、虐待防止法、成年後見制度				
授業形態	講義・演習	担当	棚橋				

実 施 回	第7回	実 施 日	2026/05/25	時限	1	班	
授業計画	エンドオブライフケア ①エンドオブライフケアとは何かが説明できる。 ②意思決定支援について理解できる。 ③自分の死生観が表現できる。	予　習	教科書：老年看護学の該当ページを読んで臨む。				
		復　習	エンドオブライフケア・死生観について考えをまとめておく。				

		キーワード	死生観、ターミナルケア、緩和ケア、エンドオブライフケア、意思決定
授業形態	講義・演習	担当	棚橋

実 施 回	第8回	実 施 日	2026/05/25	時限	2	班	
授業計画	生活・療養の場における看護 ①急性期医療を担う医療施設の特徴と看護を説明できる。 ②リハビリテーションを担う医療施設の特徴と看護を説明できる。 ③療養生活を支える保健医療福祉施設の動向を説明できる。 ④老年期のヘルスプロモーションを説明できる。 ⑤介護予防とヘルスプロモーションについて説明できる。 まとめ ①自己の老年看護観を説明できる。	予　習	教科書：老年看護学の該当ページを読んで臨む。				
		復　習	各療養期の施設の特徴と看護をまとめる。 ヘルスプロモーション、介護予防についてまとめる。				
		キーワード	ヘルスプロモーション健康日本21、介護予防、入院時の援助、退院支援、退院調整、介護保険施設、地域密着型サービス				
授業形態	講義・演習	担当	棚橋				